

# 思い出の品「懐かしい」



## 八戸学院幼稚園第一期生タイムカプセル開封

八戸

八戸学院幼稚園(道台康子園長)は8日、現在高校1年生となった約50人の第一期生が卒園する2008年3月に園庭に埋めたタイム

ムカプセルの開封式を行い、集まった卒園生ら約30人が、級友との再会を喜び思い出に浸った。

(佐藤雄)

### 現在高校1年生 級友らとの再会喜ぶ

この日は卒園式のビデオを流しながら、道台園長が「成長した皆さんと再会できてうれしい」とあいさつ。その後、当時を思い出す、砂場遊び用のシャベルなどで懸命に土を掘り起した。

40分後、タイムカプセルが姿を現すと、「何を入れたっけ」と会話を交わす生徒。封を開けると、一人一人が紙に、文章や写真、絵で「幼稚園の思い出」を表現した作品が出てきた。

当時と同様、先生にちゃん付けて名前を呼ばれた生徒は作品を受け取り、恥ずかしがりながらも喜んだ。

八戸西高1年の鈴木里佳さん(16)は「お泊まり会の思い出が純粋な言葉で描かれていた。すごく懐かしい」と声を弾ませた。当時の担任教諭、鶴飼由希さん(38)は「ここでいろんな思い出が生まれたと思うとうれしい」と笑顔を見せた。

タイムカプセル(左下)を開封し出てきた作品を通し思い出に浸る生徒ら